

井原山ハイキング～海の日に山に行く～

【報告者】I 本

【日時】2017年7月17日

【天候】晴天

【参加者】K崎、K成、I 本

《コースタイム》

8:20 水無登山口スタート→9:50 アンノ滝→11:20 井原山山頂→11:45 下山開始→
13:15 水無登山口

《 報 告 》

福岡 Walker の特別号で初心者向けとして載っていた井原山。オオキツネノカミソリを見に一人でゆるーり行こうとしていたが、一緒に行ってもらえるお二人がいてちょっと安心。

水無登山口でまずは洞穴からの冷気を味わってからスタートする。冷蔵庫よりも冷たい冷気を浴びて自然の力にびっくりする。スイカの一個でも置いておけば下山時にはキンキンに冷えているだろうな～。(※できません)

計画者の I 本が一応リーダーとして先頭を歩き出す。沢筋を歩くのでとても涼しく爽やかでとても気持ちがいい。行きはアンノ滝経由で頂上に向かうので水無分岐で右後ろに道が伸びるのだが、道標通りのはずが瞬時に判断できず、後ろの K 成さんにこっちではと促してもらう。そのままさらに進み林間歩道分岐にて、足元ばかり見ているので大きな道標をスルー(ありえない)。これも K 成さんに指摘してもらい軌道修正。「先頭だといつ足元とか集中してみてくださいませよね～」とフォローまでしてもらう体たらく。

30分強歩いたところで、沢に道がぶつかるところに出たが、踏み跡が沢沿いにあるのだがぶつりと消えている。左の沢の上流はガレ場で、K崎さんが登りあがってくださるも(歩荷なのに!)とても道はなさそう。しかし沢を右に下ってもこれまた道はない。地図上では目の前の尾根を巻いた向こうに滝、となっていると K 成さんが読図してくれるものの、向こうはどうみても藪しかない。迷っていると過去にも来たことがあるという後続パーティーが、やはり目の前の尾根に上りあがる道があるはずだ…ということで沢を渡り藪漕ぎ?を開始される。一応リーダーだし体ぐらい張らねばと藪漕ぎについていくことにした。しかしちょっと行くも結局道らしいものは見つからず、滑り落ちそうになりながら斜面をもどり元の場所に。すると先ほど来た道から沢に出る前にちょっと戻る形で道があるではないか。「迷ったら引き返す」という基本がいかにか真理か実感してしまった。

30分ほど大幅なタイムロスをしてしまったが、その後アンノ滝を発見し、記念撮

影。その後は道迷いなくスムーズに山頂に到着。下りはオオキツネノカミソリの群生をのんびり眺める予定だったが、群生地はまだまだだったようで登山口のそれよりも少ないぐらいだった。メインイベントが少々空振りだったものの、こうぞう岩からの湧水があったり、立ち入り禁止の洞窟をのぞいたりと色々楽しめるポイントが多く、最後は洞穴の冷気で一気にクールダウンして終了した。お風呂を目指して移動し、その後は恒例の反省会@西新へ。



恥ずかしながらいまだ読図が出来ないにもかかわらず、キツネノカミソリのシーズンなので人がいるだろうと当て込んで計画した今山行。ところがスタートは人がまばらで、私と同じような動機の初心者であろうペアが福岡 Walker 片手に歩いているぐらいであったし、もし一人だったら絶対アンノ滝へは行けなかったのではないかと思います。また道ははっきりしている方なのだろうが、沢の向こうに道が続いたりするとすぐわからなくなりそうだった。つくづく一緒に行ってくれる仲間の存在がありがたく、また読図と事前の計画の重要性が身に染みた山行でありました。

